平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名　高砂鐵工株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5458　URL　http://www.takasago-t.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）吉田　保
問合せ先責任者（役職名）経理部長　（氏名）畑田　正樹　TEL 03-5399-8111
四半期報告書提出予定日　平成22年2月12日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	13,579	△42.4	△1,644	―	△1,774	―	178	―
21年3月期第3四半期	23,573	―	△707	―	△851	―	△1,257	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5.94	―
21年3月期第3四半期	△41.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	23,296	2,428	9.7	75.42
21年3月期	22,346	2,291	9.5	70.40

（参考）自己資本　22年3月期第3四半期　2,266百万円　21年3月期　2,115百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	―	0.00	―	1.00	1.00
22年3月期	―	0.00	―		
22年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　有

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△32.5	△2,000	―	△2,200	―	0	△100.0	0.00

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	30,080,000株	21年3月期	30,080,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	32,321株	21年3月期	30,343株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	30,048,806株	21年3月期第3四半期	30,051,105株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
2.配当予想の当四半期における修正につきましては、平成22年1月29日発表の「平成22年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気対策の効果や輸出の回復傾向が出てきたものの、依然として景気回復力は弱く厳しい状況が続き、また、下期以降は円高やデフレなどの影響もあり、先行き不透明な局面となっております。

鉄鋼業界においては、輸出拡大等にも支えられ鋼材需要は上向き始めたものの、依然として低水準であり、特にステンレス鋼分野においては、需要回復の足踏み傾向が一層顕著で、本格的回復にはまだ時間がかかると思われます。

このような経済状況に対処すべく、当社グループは、特長商品・特長サービスへの特化を推進し、付加価値の向上に努めるとともに、あらゆるコスト削減策を実施してまいりました。ステンレス部門においては冷延・熱処理設備を廃止する抜本的構造改革に取り組み、また、みがき帯鋼事業拠点の本社地区への移転集約事業の繰上実施を断行いたしました。しかしながら、鉄鋼製品事業においては、需要回復の足取りは想定以上に重く、モーターサイクル関連部品事業においても、主力とする日米欧市場において需要回復の兆しはまだ見えず、厳しい状況が続いております。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は13,579百万円（前年同期比42.4％減）、営業損失1,644百万円（前年同期営業損失707百万円）、経常損失1,774百万円（前年同期経常損失851百万円）となりました。

これに、平成21年５月15日付「ステンレス事業の再構築による収益構造の抜本的改革についてお知らせ」のとおり、設備除却・解体撤去等に伴う一時費用(事業再構築費用)1,686百万円等の特別損失及び平成19年12月20日付「みがき帯鋼事業拠点の移転および固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、固定資産の譲渡が完了したことによる固定資産売却益4,401百万円の特別利益が加わり、法人税等調整額等の調整を行い、四半期純利益は178百万円（前年同期当期純損失1,257百万円）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末における資産総額は23,296百万円となり、前連結会計年度末より950百万円増加いたしました。これは主に固定資産や流動資産のうちたな卸資産等は減少したものの、固定資産の譲渡に伴い現金及び預金が増加したことによるものです。

負債総額は20,867百万円となり、前連結会計年度末より813百万円増加いたしました。これは主に長期借入金等の固定負債は減少したものの、未払金や支払手形及び買掛金等の流動負債が増加したことによるものです。

純資産につきましては、2,428百万円となり前連結会計年度末より137百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

３．連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想（通期）の当四半期における修正につきましては、平成22年1月29日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

一部子会社において合理的な予算制度を利用して減価償却費の算定を行なっております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,233	2,300
受取手形及び売掛金	4,339	3,189
商品及び製品	2,555	3,342
仕掛品	2,028	1,710
原材料及び貯蔵品	938	1,583
その他	989	1,539
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	15,081	13,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,321	2,349
機械装置及び運搬具（純額）	4,314	3,861
その他（純額）	703	1,398
有形固定資産合計	7,338	7,609
無形固定資産		
のれん	75	101
その他	73	322
無形固定資産合計	149	423
投資その他の資産		
その他	741	672
貸倒引当金	△14	△21
投資その他の資産合計	727	651
固定資産合計	8,214	8,684
資産合計	23,296	22,346

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,913	5,115
短期借入金	7,520	7,867
未払法人税等	38	5
賞与引当金	41	138
事業再構築引当金	200	―
その他	2,399	1,460
流動負債合計	16,113	14,588
固定負債		
長期借入金	3,151	3,811
退職給付引当金	1,129	1,118
役員退職慰労引当金	125	119
その他	346	417
固定負債合計	4,754	5,466
負債合計	20,867	20,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	785	637
自己株式	△5	△4
株主資本合計	2,284	2,136
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	△1
為替換算調整勘定	△21	△19
評価・換算差額等合計	△18	△20
少数株主持分	162	176
純資産合計	2,428	2,291
負債純資産合計	23,296	22,346

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）
売上高	23,573	13,579
売上原価	21,926	13,329
売上総利益	1,647	249
販売費及び一般管理費	2,354	1,893
営業損失（△）	△707	△1,644
営業外収益		
受取利息	9	1
受取配当金	14	7
受取技術料	45	43
助成金収入	－	92
その他	51	28
営業外収益合計	121	174
営業外費用		
支払利息	164	261
その他	101	42
営業外費用合計	265	303
経常損失（△）	△851	△1,774
特別利益		
固定資産売却益	－	4,401
投資有価証券売却益	123	－
特別利益合計	123	4,401
特別損失		
前期損益修正損	30	－
工場再編費用	84	364
たな卸資産評価損	584	－
事業再構築費用	－	1,686
その他	9	32
特別損失合計	709	2,083
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,437	544
法人税、住民税及び事業税	43	36
法人税等調整額	△248	341
法人税等合計	△204	377
少数株主利益又は少数株主損失（△）	24	△12
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,257	178

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。